

梅岩の里生誕地整備事業

基本計画



令和元年 12 月

梅岩の里生誕地整備実行委員会

梅岩の里生誕地整備 基本計画

1.建設計画について

1) 建設計画地

- 1.地名地番 : 亀岡市東別院町東掛六田 15 番、17 番、18 番、24 番
亀岡市東別院町東掛大谷 1 番
- 2.敷地面積 : 登記面積 計2,579㎡
- 3.道路 : 府道407号線 東掛小林線
- 4.地域地区 : 都市計画区域外
- 5.都市整備 : 給水：なし、排水：なし、電気：近隣電柱より引込、ガス：なし
- 6.用途地域 : 指定なし

2) 建設計画地内にある既存施設の取り扱い

- 1.既存記念館：解体撤去とする。解体処分費は本事業費内に含む。
- 2.既存記念館内部に保管の品：一部保管が必要な品を適切な場所に移動・保管したのち、記念館とともに撤去処分とする。
- 3.石碑や案内板：敷地内の適切な場所に移設
- 4.梅岩公園内の石や池など：敷地内の適切な場所に移設、極力積極的に活用する。
- 5.アプローチ 現況のまま使用。ただし記念館へのアプローチは公園と一体的に整備する。
- 6.駐車場 現況のまま使用。

2.施設計画について

1) 建設概要

記念館の建設、梅岩公園の整備、その他付帯設備を建設する。
プロポーザル案の考え方をベースに、2)以降の項目を満たすように施設計画・外構計画を行う。

2) 予定施設の概要

- 1 記念館 延床面積 : 300㎡程度
階数 : 平屋建
施設用途 : 集会場
主体構造 : 鉄筋コンクリート造一部木造
耐震安全性 : 構造体Ⅱ類、非構造部材 A類、建築設備 乙類
想定利用人数 : 墓前祭 50名程度
武道 空手等10-15名（将来的に梅岩の里の中で簡易的な宿泊もできるとよい）
生涯学習 今後検討する。
想定する諸室機能
・収蔵庫 : 寄託される書籍類を主体とし、一部掛軸もある。
(市民力推進課にて調査継続中、全貌が把握できた時点で再整理を行う。)
移設 開道舎： 棚長さにして18.4m分（実測済）
寄託 京都明倫舎： 棚長さにして54m分（受領目録から推測、1冊の厚みを4cmと仮定）
大阪明誠舎： 棚長さにして18m分（受領目録から推測、1冊の厚みを4cmと仮定）
現記念館： 今後調査予定
予備（将来的な収蔵）：棚長さにして11.6m分
計 棚長さ 95m程度は必要
収蔵庫環境他保管に関しては亀岡市文化資料館の学芸員等と協議し整理する予定。
・展示室 : 収蔵品の一部をガラスケース内に展示する。一部の資料は気軽に来館者が手に取れる様にする。
・講堂 : 生涯学習活動の場、また墓前祭のほか、空手や剣道等の武道や芸道を行うことができる
精神性の高い場。梅岩先生を顕彰し法要を行う対象（仏壇など、今後検討）を正面に配置する。
・講堂の収納 : 空手用マット、スタック椅子、折り畳み会議テーブル、演台、座布団、折り畳みローテーブル、
食器その他等の、活動に必要な備品
・里山工房 : 地域交流活動の場、周辺の豊かな自然と連携した活動ができる場として整備。
・キッチン : 里山工房と連携して、交流や活動の活性化を促す設備として活用。
・トイレ等 : 男女別および多目的トイレを設置するほか、シャワーブースの設置を検討する。
・事務室 : 建物運営事務のためのスペースを入館料設定の有無、また販売活動の有無とあわせて検討する。
・その他 : 施設維持管理のための収納や設備、また必要備品の計画検討を行う。
- 2 梅岩公園 現在に伝わる里山の風景の骨格を生かす整備とする。
・生家と一体的に屋敷と感じられるよう、記念館側も石垣を計画する。
・花・葉・果実で季節が感じられる作庭
・土砂災害に配慮しつつ公園として感じられる整備計画。

- ・擁壁（石積みの意匠を踏襲）

3 駐車場 現況のまま利用。サインを計画する。

4 その他施設・設備等

- ・さく井工事：本館単独での採取とし敷地造成後採掘を行う。基本設計期間内に試験ボーリングを行うものとする。
- ・浄化槽設備工事：本体工事に含むものとする。
- ・受電設備工事：本体工事に含むものとする。
- ・ガス設備付帯の有無は基本設計内で検討する。

3) 施設運用について

市の指定管理者を配置し、運用する。利用料は有料とするが、入館料については今後の検討課題とする。

4) 整備事業における配慮事項

- 1 生家が石田二郎様の生活の場であることに十分な配慮をすること（計画、施工時ともに）
- 2 梅岩先生が幼少の頃にご覧になった風景の骨格を残すこと。
- 3 京都府福祉のまちづくり条例における特定まちづくり施設に該当する可能性が高い（京都府と協議）
- 4 強雨時の敷地南側からの雨水が支障なく排水できる外構計画とすること
- 5 周辺環境の特徴を活かし、ライフサイクルコストと環境負荷低減に配慮した計画とする。

5) その他

基本設計時に下記の調査を行うこととする。

- ・敷地内井戸の試掘による採水量と水質の確認
- ・地盤調査（原位置試験、ボーリング調査1箇所およびスウェーデン式サウンディング試験5箇所）
- ・敷地図の作成および敷地測量

3.付帯業務について

1) 修繕計画

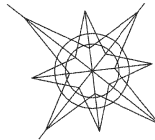
建築および外構まわりの修繕計画を実施設計完了後に立案する。

以上

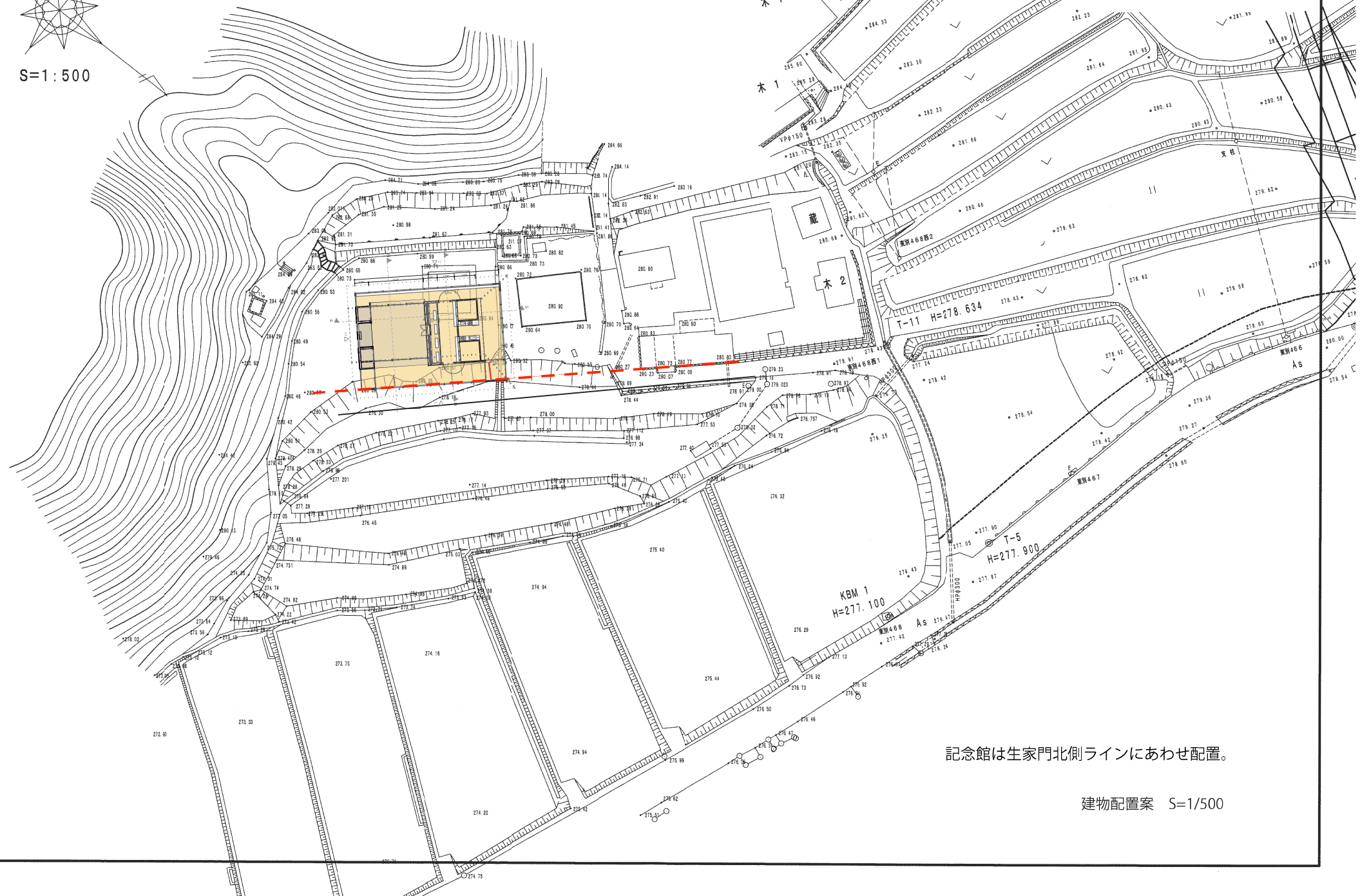


2019.11.22

塩田有紀建築設計事務所



S=1:500



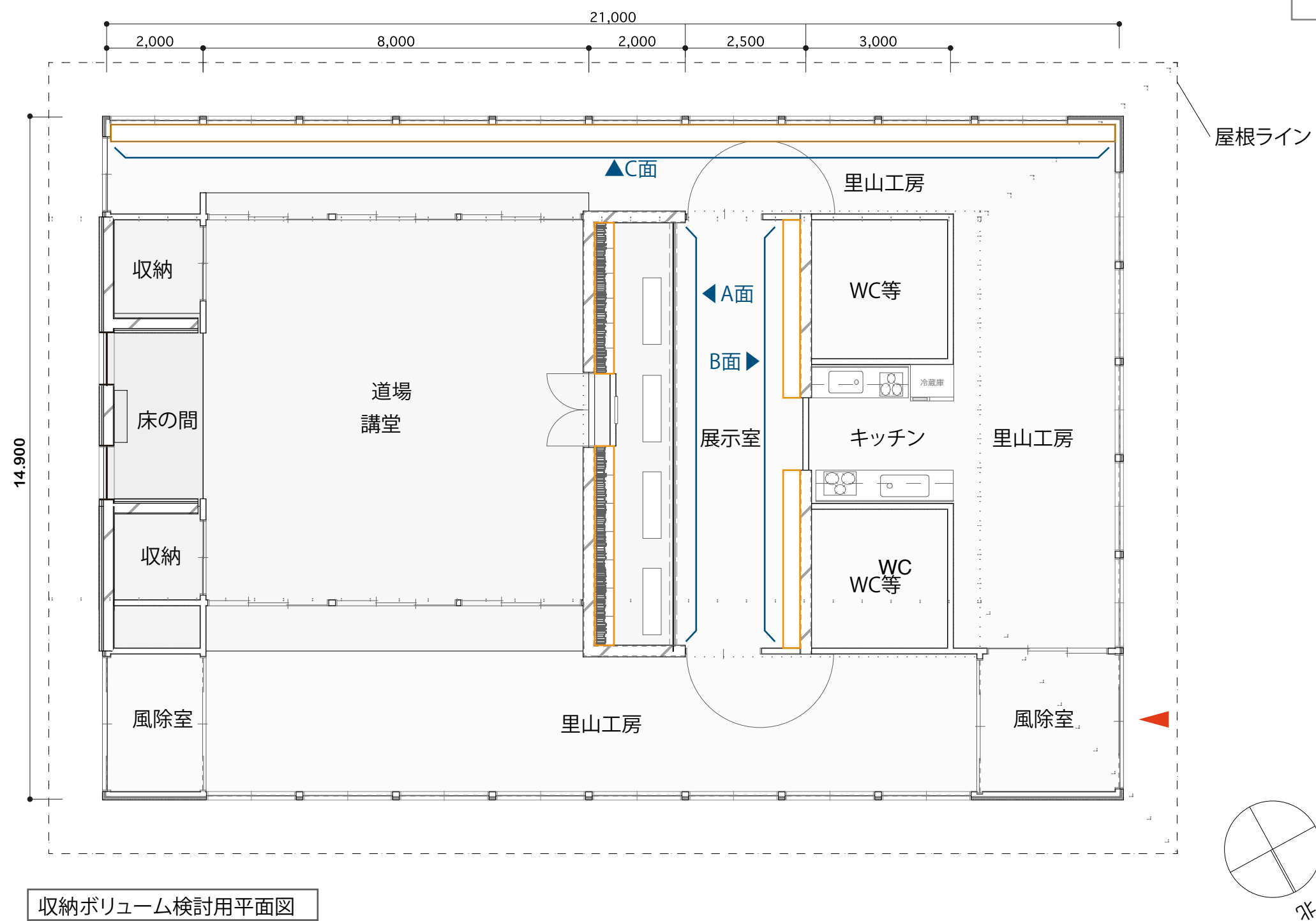
記念館は生家門北側ラインにあわせ配置。

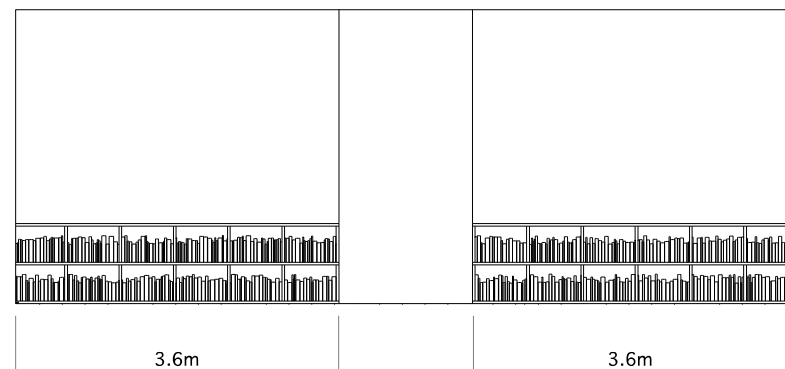
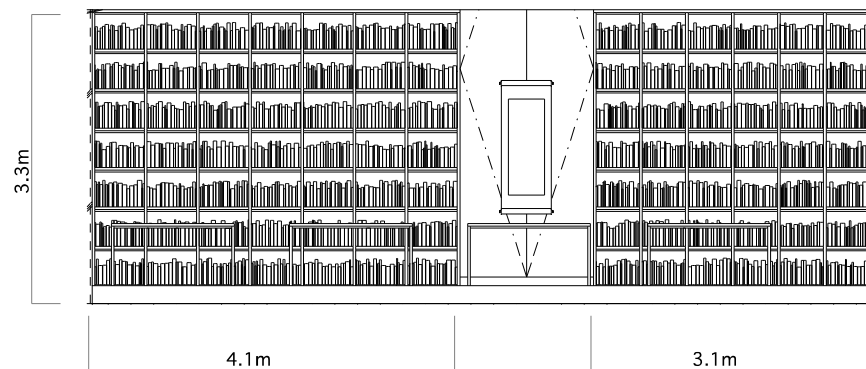
建物配置案 S=1/500

凡例

□ : 書棚

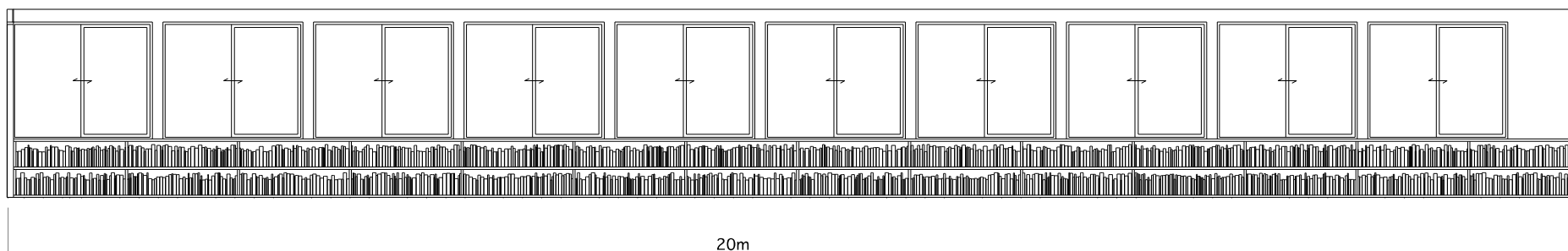
A面・B面・C面 : 展開図を別図に示す





収蔵庫ガラスケース内<A面>

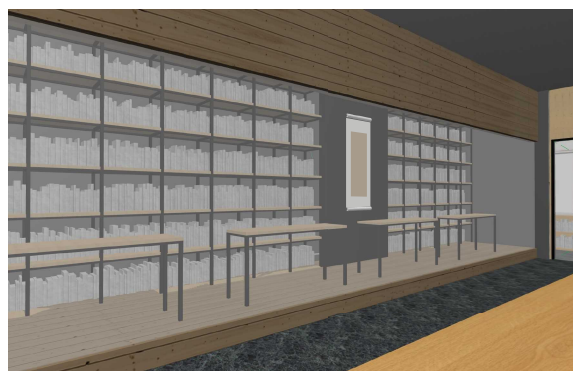
収蔵庫通路内<B面>



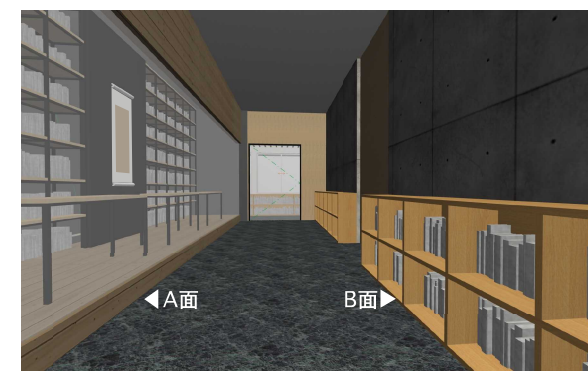
里山工房 南側<C面>

収蔵ボリュームの検証

収蔵庫ガラスケース内: $(4.1+3.1) \times 7 \text{段} = 50.4\text{m}$
 収蔵庫通路内: $3.6 \times 2 \times 2 \text{段} = 14.4\text{m}$
 里山工房北側: $10 \times 2 \times 2 \text{段} = 40\text{m}$
 計 104.8m



収蔵庫ガラスケース内<A面>



展示室

展示方針と収納ボリュームの検証(書棚の展開図)

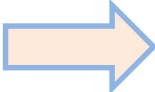
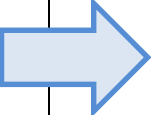
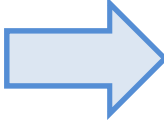
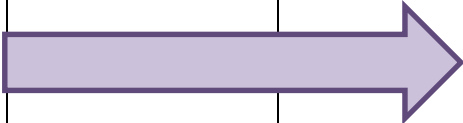
塩田有紀建築設計事務所
 465-0088 豊知県名古屋市長区名東本町29
 052-783-1339 syao@mac.com

業務名称 梅岩の里生誕地整備及び記念館設計業務
 縮尺 1:60
 作成日 2019年11月22日
 進捗 基本計画

図面番号 改訂番号
 1.14

梅岩の里生誕地整備事業スケジュール

2020. 2. 23

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
実行委員会 設置・運営 生誕地整備に係 るプロポーザル 及び基本計画 基本設計 実施設計 生誕地整備工事	3 月 					
ふるさと納税の 募集		5 月～ 				
ふるさと納税 金額見込み		(実績) 8,380 千円	1 月末見込み額 68,703 千円	R2 年度想定 50,000 千円	R3 年度想定 50,000 千円	R4 年度想定 50,000 千円
その他関連事業		・生涯学習都市宣 言 30 周年 ・ガレリアかめお か開館 20 年	・心学開講 290 年 シンポジウム	・全国生涯学習市町 村協議会 20 周年 ・生涯学習かめおか 財団 30 周年		

※ふるさと納税募集期間は 4 年間で目標 2 億円とする。

梅岩の里生誕地整備事業に係る寄附募集について

○令和元年１０月

イメージパースを使用した寄附依頼リーフレット作成（17,000 部）

○令和元年１１月２日（土） ホテルグランビア京都

「石田梅岩先生開講２９０年記念講演会」において生誕地整備事業説明並びに寄附依頼及びリーフレット配布 参加者 約１２０名

主催（一社）明倫舎・（一財）石田梅岩先生顕彰会
（一社）心学明誠舎・（一社）心学修正舎

○令和元年１１月２５日（月） 実行委員会構成団体等寄附募集協力依頼

亀岡商工会議所 ２，０００部（12月発行会報誌同封分 1,600 部含む）
（一社）亀岡市観光協会、亀岡経済同友会
市役所エントランスホール及び各施設（配架）

○令和元年１２月６日（金） 京都商工会議所

梅岩の里生誕地整備事業推進及び寄附募集について協力依頼

京都商工会議所 総務部 植村部長

梅岩の里生誕地整備実行委員会

桂川会長、川勝副会長、木戸委員、小谷委員

京都商工会議所会報誌１・２月号（１月２０日発行）に寄附依頼リーフレット同封（京都商工会議所会員数 約１２，０００社）

○令和２年１月末現在の寄附状況

WEB	1,498 件	65,648,000 円
郵便振替	33 件	3,055,000 円
合計	1,531 件	68,703,000 円